

## 平成23年第2回定例会一般質問通告一覧表

質問順	受付月日	6.16	通告者	11番	戸津川 晴美
1番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	<b>仮設住宅、在宅被災者に関して</b>				
	<p>(1) 災害救助法においては、仮設住宅の住民等にも生活物資の支援が事業として位置づけられているが、本市の対応を問う。</p> <p>(2) 車の被害等のため、買い物・通院・通学等に不便を感じる被災者が多い。市内巡回バスの運行を検討されたい。</p> <p>(3) 阪神・淡路大震災後、孤独死が大きな社会問題となった。本市においてはそのようなことの無いよう、対策を検討されたい。</p> <p>(4) 今後、災害復興住宅の建設が待たれるところであるが、その計画案を問う。</p>				
2	<b>震災後の子どもの支援に関して</b>				
	<p>(1) 大きな傷を負っている子どもたちの心のケアの具体策を問う。</p> <p>(2) 震災遺児に対する支援策を問う。</p> <p>(3) 津波被害を受けた公園の復旧計画を問う。</p>				

質問順	受付月日	6.15	通告者	18番	昌浦 泰已
2番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	<b>市長の政治姿勢について</b>				
	<p>(1) 市長は私的とはいえ、震災で亡くなった方の49日も過ぎていず、避難所では約1,000人の被災者が、不自由な生活をしていた4月16日・17日に単独で太宰府市に赴き、市長選挙の応援演説をした。被災地の市長が太宰府市に2日も行く正当性が見出せない。市長の真意を伺う。</p> <p>(2) 16・17日は4カ所の避難所に赴き、被災された方と懇談すべきであったと思うが市長のお考えは。</p> <p>(3) 副市長だけに相談したとのこと。副市長は時期尚早と諫めるべきだったと思うが、二人の間でどんな会話のやりとりがあったのか。</p> <p>(4) 太宰府市に赴いたことは軽率だったとお考えか。そうお考えなら、市議会本会議というこの場で何らかの行動をとられてはいかがか。</p>				

質問順	受付月日	6. 16	通告者	6番	金野次男
3番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	<b>災害廃棄物（がれき）処理・撤去について</b>				
	<p>現在、一次仮置き場では公害問題、衛生問題が生じ、火災発生のおそれもあることから、早期の二次仮置き場設置が求められているが、現在の進捗状況を伺う。</p> <p>また、一日も早いがれき撤去を進めるため、現場における自走式分別破碎処理車の導入、または他県へ処理を依頼するなど迅速な対応が求められる。速やかながれき処理こそ、「史都 多賀城」復旧の第一歩であると思うが、いかがか。</p>				
2	<b>県仙塩流域下水道仙塩浄化センターについて</b>				
	<p>県は、処理形態までの復旧に2年を要すると公表しているが、現在の進捗状況を伺う。また、梅雨・夏期時期の公衆衛生問題の対応について、どのように考えているのか説明されたい。</p>				
3	<b>小・中学校における防災対策の推進について</b>				
	<p>県内唯一、小・中学校の児童生徒及び教職員に一人の犠牲者も出さなかった本市であるが、更なる防災教育（避難訓練等）の推進及び小・中学校施設（空き教室等）を利用した分散備蓄に、今後もっと重点を置くべきと考えるが、いかがか。</p>				

質問順	受付月日	6. 16	通告者	20番	小嶋廣司
4番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	<b>災害廃棄物仮置き場周辺の環境整備と衛生対策について</b>				
	<p>(1) 文教施設（多賀城第二中学校、山王地区公民館付近）及び付近住民に対する環境衛生対策について伺う。</p> <p>(2) 汚泥集積所が高橋地区近隣公園予定地内に設置されているが、山王小学校通学路及び付近住民に対する砂塵対策をどのように考えているのか伺う。</p>				
2	<b>農地及び農業資機材への助成について</b>				
	<p>津波被害を受けた農地及び農業資機材の復旧に対する助成措置については、どのように考えているのか伺う。</p>				

質問順	受付月日	6.16	通告者	5番	米澤 まき子
5番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	<b>県仙塩流域下水道仙塩浄化センターの現況について</b>				
	<p>発災後、大代地区住民は、耐え難い悪臭に現在もなお悩まされている。この悪臭の原因及び急務である悪臭対策について、県はどう検討されているのか。</p>				
2	<b>福島第一原発の事故による放射性物質の影響について</b>				
	<p>(1) 当市でも、小・中学校の校庭・プールでの放射線量測定を実施しているが、それ以外（校舎内、幼稚園、保育所、通学路）での市独自の測定を検討されているか。</p> <p>(2) 放射能の影響は、小さな子どもほど受けやすいため、学校給食の野菜等の産地の公表を検討していただきたい。</p>				

質問順	受付月日	6.15	通告者	13番	吉田 瑞生
6番	答弁者	市長	発言時間	30分	
	<b>東日本大震災の復旧・復興に関する諸問題について</b>				
	<p>(1) 本市震度の信頼性を高めるため、震度計の設置場所を変更することについて</p> <p>(2) 県仙塩流域下水道仙塩浄化センターの早期復旧・悪臭解消・油をつくる藻生産について、国・県へ申し入れを行うことについて</p> <p>(3) 工場地帯・公園等への植樹及び臨港道路中幹線の拡幅・植樹により防災機能を高め、減災を図ることについて</p> <p>(4) 八幡雨水幹線の復旧に際し、「水・緑・防災まちづくり復興整備計画」を策定し、取り組むことについて</p> <p>(5) 浸水した公共施設の復旧・復興のため、高台移転・防潮壁設置等を行うことについて</p> <p>(6) 二重債務問題解決のため国へ法整備を求めることについて</p> <p>(7) 津波防災マップ・心構え等の作成及び海拔表示標識の設置について</p> <p>(8) 市公共施設の省エネルギー推進のため、LED照明へ入れ替えを図ることについて</p> <p>(9) 災害廃棄物仮置き場付近の環境保全及び早期処理に向けた県への要望について</p>				

(10) 商工業の復活と再生に向けた施設・設備の確保について
(11) 規制緩和や税制優遇等の振興策を推進するため、「振興特区」を国へ求めることについて
(12) 防災行政無線の施設設備新設について
(13) 被災した自営業者等を支援するため、災害救助法に規定する生業の救助に係る具体運用を国へ求めることについて

質問順	受付月日	6.16	通告者	10番	藤原益栄
7番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	<b>被災者支援強化について</b>				
	<p>(1) 災害救助法に基づく食料費は一人一日1,010円から1,500円に、避難経費は300円から1,000円に引き上げられた。これらはどのように生かされているか。</p> <p>(2) 被災者生活再建支援金の支給が遅れている。原因は何か。どのような手だてを取ろうとしているか。</p> <p>(3) 災害弔慰金は、兄弟姉妹間にも支給するよう、国に働きかけられたい。</p> <p>(4) 修理代が数百万円になろうとも、一部損壊の世帯には何らの支援制度もない。修理費に支援制度を創設されたい。</p>				
2	<b>地震被害の拡大防止策と支援について</b>				
	<p>伝上山4丁目の新団地で擁壁のブレ、道路・宅地の地割れが起きている。市として地盤調査を行うとともに、被害拡大防止の手だてを取られたい。</p> <p>また、市民の安全な通行のために、鉄枠を設置するなどの措置を取られたい。</p>				
3	<b>商工業の復興・雇用対策について</b>				
	<p>(1) 市内事業所の被害の全容を明らかにされたい。</p> <p>(2) 市として、どのような再開復興策を考えているか。</p> <p>(3) 駅周辺の市有地を仮店舗用に提供できないか。</p> <p>(4) 市として、雇用の拡大策をどのようにお考えか。</p>				
4	<b>保育所以外の民間福祉施設への支援について</b>				
	市として、どのような支援策をお考えか。				

質問順	受付月日	6.16	通告者	3番	深谷晃祐
8番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	<b>多賀城市の復興に向けて</b>				
	<p>(1) 工業団地（宮内地区等準工業地域を含む。）の復興に向けての具体案について、現時点ではどのようにお考えか。</p> <p>(2) 復興まちづくりを進める上では、まず、市長の目指す方向性を具体化した議論のたたき台を用意した上で、市民の意見を傾聴しつつ、市民協働により復興案をまとめていくことを求めるが、いかがか。</p> <p>(3) 復興に向けた市長の意気込みを伺う。</p>				
2	<b>強い防災に向けて</b>				
	<p>今後の防災対策の見直しについては早急な対応が求められるが、具体的にどのように検討を進めていくのか伺う。</p>				

質問順	受付月日	6.16	通告者	2番	佐藤恵子
9番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	<b>砂押川堤防決壊箇所完全復旧について</b>				
	<p>現状は応急修復の状況であり、地域住民は大変不安を感じている。速やかな完全復旧に向けて、県はどのように考えているのか。</p> <p>また、直ちに完全復旧を図るよう、県に強く求められたい。</p>				
2	<b>市内被災事業所への支援策について</b>				
	<p>(1) 多賀城・七ヶ浜商工会の調査によると、今回の災害により被災した事業所は、全体の約6割に及ぶという。商店、工場等が事業継続する場合、被災程度に応じ支援策を講じるべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 仮設住宅への入居が進む中、高齢の方々を中心に、場所によっては日常の買い物に困難をきたしているとの声も寄せられている。仮設住宅入居者、在宅被災者の日常生活を支援するために、市として移動販売車の配置等を含む対策を講じるべきではないか。</p>				
3	<b>保育所の再建について</b>				
	<p>(1) 桜木保育所は、全市的なバランスから見て桜木地域には必要な施設である。防災上も安全で地域の避難所としても役割を果たせるような施設として再建されたい。</p>				

	(2) 今回の災害で、市内の無認可保育所も大きな被害を受けた。県内でも待機児童の多い本市で、無認可保育所は大きな役割を果たしてきた。その役割を引き続き果たしていただくために、市として独自の支援策が必要ではないか。また、国へも支援策を求めていくべきと思うがいかがか。
4	<b>県仙塩流域下水道仙塩浄化センター破損に伴う悪臭対策強化について</b> (1) 県からは、現時点で地元を理解を求めるなどの説明がなされていないばかりか、地元から説明会の開催を求めているが回答がない。市として、県に対応を求めるべきではないか。 (2) 地域住民からは、強い怒りや苦情が出されている。市も、県と一体となり悪臭を抑えるために必要な対策を実施すべきではないか。

質問順	受付月日	6.16	通告者	1番	柳原清
10番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	<b>高橋跨線橋の復旧について</b> 高橋跨線橋は、3月11日の震災以来通行止めとなっている。このため山王地区は南北に分断され、第二中学校への通学、お年寄りの通院に大変不便をきたしており、踏切事故も心配されている。復旧の見通しはどうか。また、歩行者だけでも早急に通れるようにされたい。				
2	<b>がれきの一次仮置き場について</b> 第二中学校東側、中央公園のがれき一次仮置き場及び高橋調整池の汚泥置き場について、保護者、周辺住民から健康被害への懸念が出されている。県は蒲生に二次仮置き場を設置することだが、がれきの搬出はいつから開始するのか。また、悪臭、害虫、粉塵対策を考えられたい。				
3	<b>保育・教育施設の放射線検査について</b> 福島第一原発からの放射性物質の影響が心配されている。市内全保育所、幼稚園、小中学校、高校の放射線検査を実施し、結果を公表されたい。また、女川原発で事故が起きた場合の避難計画、除染、薬剤の備蓄などは考えているのか。				

質問順	受付月日	6.15	通告者	7番	森長一郎
11番	答弁者	市長	発言時間	30分	
1	<b>震災関連死について</b>				
	<p>(1) マスコミ等で「震災関連死」についての報道がなされているが、当局ではどう捉えているのか。</p> <p>(2) 厚生労働省より認定基準が示されたが、当局の対応はいかがか。</p> <p>(3) 市民への周知方法を伺う。</p>				
2	<b>復興に向けて</b>				
	<p>(1) 復興ビジョン・復興計画の速やかな策定及び実行を願うがいかがか。</p> <p>(2) 集中経済施策が必要と考えるが、当局の対応を伺う。</p>				

質問順	受付月日	6.16	通告者	8番	雨森修一
12番	答弁者	市長・教育長	発言時間	30分	
1	<b>被災者支援について</b>				
	<p>この度の東日本大震災により、大多数の市民が被害を受けている。被災者生活再建支援制度による住宅被害等の再建支援及び3段階の区分による義援金の支給がなされているが、区分外の被害に対しては何の支援もなく、市民の不満が募っている。一部損壊等の住宅、店舗等に対し、市独自で何らかの支援を行うべきと考えるが、いかがか。</p>				
2	<b>児童・生徒及び教職員の心のケアについて</b>				
	<p>本市においては、市内小・中学校の児童生徒の死者、行方不明者は無いが、心の傷は大きく、心のケアが求められている。また、教育者側に対しても同様と考えるが、市長の見解はいかに。</p>				